

年 組 名前:

## 健康フード 快適な家具 高級ペット用品 活況



良品計画が発売した猫用の家具やベッド  
＝東京都文京区

生活用品や食品を扱う大手メーカー各社が、高級化するペット用品市場に熱視線を送っている。飼い犬や猫たちを家族の一員だと考える人が増え、値段が張っても健康に良い食べ物や高品質の家具を選びたいとのこだわり需要が高まっている。

### 「家族の一員」需要拡大

今年20日には無印良品を展開する良品計画がペット用品に本格的に参入した。これまでもペットの尿を吸水する使い捨てシートなどを販売してきたが、今回は新機軸として、室内で暮らす猫たちのス

トレスを減らす「快適な暮らし」に着目。国産の鶏肉を使ったキャットフードや素材の味を生かしたビュール、内部に縦穴と横穴を開けて移動したり隠れたりできるようにした棚などの家具を発売した。

品質管理や安全基準は人間向けの商品と同じ厳しさをチェックしており、開発に携わった嶋崎朝子

上席執行役員は「安心して（ペットに）与えられる物のニーズが高まっている」と語る。来春には犬にも使えるケア用品などのラインアップを増やす予定だ。流通大手イオン傘下のイオンペ  
ットは、高付加価値の冷凍食品に力を入れている。記念日をペットと祝いたいとの需要をつかもうとクリスマスケーキやおせちを販売。ケーキは安心安全を求める声に応えようと、人間と同じ衛生基準を採用。不二家とコラボレーションし、同じブランドのケーキを飼い主も食べて一体感を感じてもらうことも想定した。2023年の販売実績は19年の約1.7倍に伸びており、今年初めて1万円を超えるおせちを用意した。「納得できれば高くても買う人が増えている」（イオンペットの商品本部長）という。  
ユニ・チャームはカルビーと共同で犬用スナック菓子を開発した。人間におなじみの「サッポロポテト」をアレンジ。犬に配慮した薄めの味付けとしながらも食感や形を忠実に再現した。計画を上回る売れ行きだ。  
国内のペット関連市場は年々拡大。矢野経済研究所は、19年度の1兆5705億円から24年度は1兆9026億円、26年度には1兆9888億円に伸びると予想している。

(2024年11月26日付 山梨日日新聞6面)

#### 問1

高級ペット用品の需要が高まっています。その理由を教えてください。

.....

#### 問2

記事には、各社の取り組みが書いてあります。各社ともに同じ考えで商品化していることを教えてください。

.....

#### 問3

売れ行きが好調な犬用スナック菓子には、どのような工夫がありますか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.